

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。日ごろから本市の市政に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年11月、本市は市制5周年を迎えました。市制スタートの当日は朝から雨でしたが、姉妹都市であるニュージブラルダのギズボーン市長から「今日降っているこの雨は、天からの祝福の雨」です。自然から、天から、あらゆるものから、野々市市の誕生を祝福されています」とのお祝いの言葉をいただき、大変感銘を受けたことを今でも思い出します。

市制施行当初から、自分たちのまちは自分たちで創る「市民協働のまちづくり」を掲げてきました。このことで、多くの市民の皆さまがこのまちに住むことの意義を考え、積極的に地域に関わっていくことへの気運が高まってきたと感じています。国は人口減少社会を克服するため、地方創生を打ち出していますが、そのような中にあっても、本市の人口が増加傾向にあることは大変喜ばしいことであり

ます。まちづくりの道標である野々市市第一次総合計画も折り返し地点に差し掛かり、後半に向けて施策の見直しを実施しております。

さて、「全国椿サミット野々市大会」が今年3月に開催されます。ツバキ展示鑑賞施設『愛と花のギャラリー』のいち椿館などを整備し、全国から集まるツバキ愛好家を温かくお迎えします。

さらに、11月には待望の市立図書館と市民学習センターを併せ持つ文化交流拠点施設の開館を予定しております。市民の皆さまにとって新たな活躍の場、親しみの持てる施設となるよう整備してまいります。

本年も市民の皆さまとともに本市の魅力を高め、笑顔があふれる「住み心地いちばんのまち」を目指して歩み続けてまいりますので、より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

おめでとうございます。

心豊かに新しい年を、市民の皆さまとともに迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年中は野々市市議会に対して暖かいご支援を賜り、まことにありがとうございます。市議会を代表して心より感謝申し上げます。

さて野々市市は昨年、市政施行から5周年を迎えたわけですが、この間にもさまざまなことがございました。そのうちのごく一部を挙げさせていただきますと、施設面では富奥防災コミュニティセンターが竣工されたことで、災害への備えがさらに増強されました。また組織面では野々市市観光物産協会が設立され、本市の対外的なアピールに日々力を尽くしていただいているところでございます。

他にも現在、野々市中央地区整備事業が市内の複数の場所で行われており、もしくは計画中でございまして、これらが完成すれば新しい図書館や学習センター、公民館などとして利用できるようになります。これによりさらに市民の皆さまの利便性が向上するものと思われ、大いに期待をしているところでございます。

このように市制施行後も歩みを

止めることなく発展を続けている野々市市ですが、数多くの先人のご努力が実を結んできたからこそこの今日があるのだということを忘れるわけにはまいりません。

今後とも、古くから育まれてきた歴史と文化を大切にしながら、後世の人々に自分の街のことを誇らしく思ってもらえるよう、より大きな夢と目標を持ってこれからのまちづくりを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

市議会といたしましても、皆さまのご活躍の一助となれますよう、より透明度の高い開かれた議会をめざし改革を進めている途上にございます。この先もどうか市民の皆さまの議会活動に対するご理解と尚一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、皆さまの健康と、野々市市の将来の発展を心から祈念し、年頭のごあいさつといたします。

野々市市議会議長

早川 彰一

野々市市長

栗 貴章